

# Case Study 5

## 松井電器産業株式会社

### 災害をイメージし、備える



#### Data

対象事業： 電子部品の実装、製造組立

対象リスク： 首都直下地震

被災シナリオ： 2月平日 午後6時

震度7、マグニチュード9の地震 鹿沼地区 震度6強

事業継続策： 中核事業の復旧、重要顧客への製品供給

企業名 松井電器産業株式会社

代表者名 山野井 隆太

#### Q 御社の事業内容は？

- ・電子部品の実装、電気回路の製造組立
- ・上記関連治工具等の製造販売
- ・EV充電機能付LED街路灯の製造販売

#### Q 今回BCP策定に取り組みられた理由を教えてください。

2011.3.11 14:46 東北地方太平洋沖地震による弊社の被害は軽微で、かつ、ライフラインの停止もありませんでした。しかし、発災が夜中だったら、震源がもっと近かったら、被害が甚大であったら・・・どうなっていたかと考え、BCPの策定に取り組みました。

#### Q 策定したBCPの主な内容(ポイント)を教えてください。

- ①自衛消防隊の再編と実効力強化
- ②緊急時における従業員連絡リストの整備
- ③非常持ち出しセットの必要数見直し
- ④安否確認システムの早期購入
- ⑤小型発電機(ガスカートリッジ式)の準備
- ⑥非常用電源(産業用蓄電システム)検討
- ⑦データのクラウド化検討

#### Q BCP策定によって得られた気づきはありましたか？

- ①事業継続を考慮した災害準備をしていない。
- ②管理者のほとんどが20~30キロ超から通勤
- ③現災害対策本部メンバーの入れ替えが必要。

④電気の自社調達=BCP(事業継続)である。

⑤電気がなければ、中核事業を再開できない。

#### Q 今後の課題と方向性について教えてください。

松井電器産業株式会社 BCP基本方針

「1.従業員を守る。2.会社を守る。3.地域を守る。」

この基本方針を遂行するために、BCPの必要性、重要性を社長以下管理監督者と全従業員が共通認識とし、各人の防災意識を高めていきます。

BCP関連投資も全体の投資計画に含めて考え、他のサイト及び全社的なBCPの策定も行っています。

#### Q BCPを策定した感想をお願いします。

想定リスクにより、その準備対応は異なります。ライフラインが寸断された場合の復旧は困難です。また、中小企業がいつ起きるかわからないことに投資できる金額は少なく、中長期計画で検討し、「想定外だった」と後悔しないように備えたいと考えています。

策定はゴールでなく、これからが正念場です。

商号 松井電器産業株式会社  
本社所在地 栃木県鹿沼市白桑田520  
設立 昭和42年8月12日  
資本金 3,000万円  
従業員数 297名(2013.6.21現在)  
代表者 山野井 隆太  
事業内容 電子部品の実装、電気回路の製造組立  
及び関連治工具等の製造販売  
URL <http://www.matsuidenki.co.jp/>